

○降雨により水がたまっただけがみられることから、停滞水を除去するため、
額縁排水溝や排水口の点検、手直しを行い、ほ場の排水を徹底しましょう。

1. 病虫害防除

風が穏やかな時に散布し、周辺へ飛散しないように注意しましょう！

○基本防除(えんれいのそら、シュウレイの場合※)

防除時期		8月4日～9日頃	8月18日～23日頃
粉剤体系	薬剤名	スミチオンベルコート粉剤 DL	トライトレボン粉剤 DL
	10a 当たりの散布量	3kg (収穫 21 日前まで)	3kg (収穫 14 日前まで)
	対象病虫害	紫斑病、カメムシ類、マメシクイガ	紫斑病、食葉害虫、カメムシ類
液剤体系 (ラジヘリ 防除除く)	薬剤名	ブランドム乳剤 25 +カスケード乳剤	ベルコートフロアブル +トレボン EW
	10a 当たりの散布量	3000～5000 倍/100～300L (開花後～7 日前まで) 4000 倍/100～300L (収穫 7 日前まで)	1000 倍/100～300L (収穫 7 日前まで) 1000 倍/100～300L (収穫 14 日前まで)
	対象病虫害	紫斑病 カメムシ類、ハスモンヨトウ、ウコンノメイガ	紫斑病 カメムシ類、ハスモンヨトウ、マメシクイガ

・ラジヘリによる基本防除は、1回目：8月4日～5日頃、2回目：8月18日頃です。

※オオツルの場合は、えんれいのそらやシュウレイより、散布時期が1週間程度遅くなります。

○随時防除

7月下旬から生育が旺盛なほ場を中心に、ウコンノメイガによる葉巻きがみられます。ほ場をこまめに見回り、発見次第、速やかに防除しましょう。

対象病虫害	防除時期	薬剤名	10a 当たりの散布量	使用回数
ウコンノメイガ (ハマキムシ)	～8月中旬	ダントツH粉剤 DL	4kg (収穫 7 日前まで)	3 回以内
ハスモンヨトウ、 アブラムシ類	8月上旬～下旬	トレボン粉剤 DL	4kg (収穫 14 日前まで)	2 回以内
ハダニ類	8月中旬 ～9月上旬	ダニトロンフロアブル	1000～2000 倍/150～300L (収穫 7 日前まで)	1 回
葉焼病	7月下旬	Zボルドー	500 倍/100～300L	—

2. 畦間かん水

○水分が不足すると落花や落莢が起こり、青立ち株が発生しやすくなります。

○3日以上晴天が続く場合は、土壌の乾きに応じて、畦間かん水を行いましょう。

・開花期～9月上旬頃は、大豆の子実が肥大する時期であり、最も水分を必要とします。

・畦間かん水は、ほ場全体に水が行き渡ったら水口を止め、速やかに排水しましょう。

帰化アサガオ類に注意！

- ・帰化アサガオ類は繁殖力が旺盛で大豆にからみつくなど、収穫作業や品質などに大きな影響が生じます。畦畔などで見かけたら開花・結実前に、必ず除去してください。

